

VIII 経過観察指標 (monitoring indicators) の拡充・強化

1 要旨

- 山梨県・静岡県及び関係市町村は、「ひとつの存在 (an entity)」及び「ひとつ (一体) の文化的景観 (a cultural landscape)」としての管理手法を反映した保存・活用の施策の実施状況を把握するために、「包括的保存管理計画」に定めた観察指標に基づく経過観察を毎年実施している。さらに、富士山世界文化遺産協議会は、観察結果を毎年評価し、各種施策が有効に実行されていること、資産及び周辺環境に対する負の影響がないことを確認している。
 - ・観察結果及び評価を記載した年次報告書の作成

【参考資料 16 (P90)】
- 特に、構成資産及び緩衝地帯の範囲内に設定した 36 箇所の定点観測地点から、展望景観の変化に関する観察を実施し、負の影響が認められないことを確認している。
 - ・観察結果を年次報告書へ記載。

2 戦略に記載した取組の方向性

(1) 「信仰の側面」・「審美的な側面」を反映した指標の拡充・追加

ア 展望景観の定点観測地点の追加

顕著な普遍的価値に直接関係する 2 つの展望地点 (本栖湖北西岸の中ノ倉峠、三保松原) のほか、構成資産及び緩衝地帯の範囲内に新たに複数の展望地点を設定し、定点観測によって展望景観の状態を把握する。

イ 富士山信仰に関わる宗教行事の実施状況の把握

富士山信仰に関わる宗教行事の実施状況及び後世への継承の状況を把握する。

ウ 来訪者の意識調査の実施

富士山の顕著な普遍的価値及び構成資産相互のつながりに関する来訪者の理解の状況を把握する。

エ 上方の登山道の収容力に関わる指標の設定

富士山の上方の登山道の収容力の調査研究を行い、多角的な視点に基づく複数の指標を設定する。

(2) 各種戦略・方法等の実施状況の把握

各種戦略・方法等に定めた課題の解決・改善のための対策の実施状況を継続的に把握し、評価・見直しを行っていくため、定期的かつ体系的な経過観察を実施する。

3 実施状況

(1) 「信仰の側面」・「審美的な側面」を反映した指標の拡充・追加

ア 展望景観の定点観測地点の追加

戦略に記載した対策の概要	進捗状況
2つの主要な展望地点（本栖湖北西岸の中ノ倉峠、三保松原）に加え、34ヶ所を新たな観測地点として選定し、展望景観の変化について定点観測を行う。	富士山世界文化遺産協議会は、富士山包括的保存管理計画に定めた観察指標に基づき、モニタリング結果をとりまとめた年次報告書を毎年度作成し、評価を実施している。 なお、2015年度及び2016年度においては、資産及び周辺環境に対する負の影響は認められていない。

イ 富士山信仰に関わる宗教行事の実施状況の把握

戦略に記載した対策の概要	進捗状況
富士山信仰に関わる宗教行事の実施状況を把握する。	毎年度調査を行い、結果を年次報告書に記載している。

ウ 来訪者の意識調査の実施

戦略に記載した対策の概要	進捗状況
顕著な普遍的価値及び構成資産相互のつながりに関する来訪者の理解の状況についてアンケート調査を行う。	毎年度調査を行い、結果を年次報告書に記載している。

エ 上方の登山道の収容力に関わる指標の設定

戦略に記載した対策の概要	進捗状況
上方の登山道の収容力に関わる指標を設定する。	3年間の収容力に関する調査研究を実施するとともに、望ましい富士登山の在り方の3つの視点ごとに、合計11項目の指標及びその目標水準を設定した。 さらに、今後、必要な施策を推進するとともに、継続的にモニタリングを実施し、適切な来訪者管理を行う。(再掲)

(2) 各種戦略・方法等の実施状況の把握

戦略に記載した対策の概要	進捗状況
経過観察を実施し、対策の定期的な評価・見直しを行う。	<p>富士山世界文化遺産協議会は、富士山包括的保存管理計画に定めた観察指標に基づき、モニタリング結果をとりまとめた年次報告書を毎年度作成し、評価を実施している。</p> <p>なお、2015年度及び2016年度においては、資産及び周辺環境に対する負の影響は認められていない。(再掲)</p>

<参考資料 16>2016 年度経過観察指標に係る年次報告書（抄）

●「資産及び周辺環境の保護」に関する観察指標（抜粋）

資産及び周辺環境に対する負の影響		観察指標	指標の測定内容・手法	周期	観察記録主体	2016 年度の結果	2015 年度の結果	コメント
開発・都市基盤施設の整備による影響	1 都市基盤施設の整備による影響	a)電線の地中化延長	年度末の総延長距離(km) ※累計	毎年	山梨県 静岡県	59.00km	57.90km	計画的に事業を進めている。
自然環境の変化	2 酸性雨	b)大気汚染に係る環境基準達成率(二酸化硫黄(SO ₂)、二酸化窒素(NO ₂))	SO ₂ 、NO ₂ の1日平均値の最大値	毎年	山梨県 静岡県	SO ₂ 0.005ppm NO ₂ 0.037ppm	SO ₂ 0.008ppm NO ₂ 0.031ppm	環境基準を超える箇所はない。
	3 気候温暖化	c)植生調査	富士山山頂周辺の平均植生率	おおよそ5年	環境省	—	1.5%	次回調査時に2015年度の結果と比較する。
	4 野生動物及び病虫による影響	d)森林の病虫獣害による被害面積	病虫獣害による被害面積	毎年	林野庁 山梨県 静岡県	病虫害 100.9ha 獣害 101.6ha	病虫害 99.6ha 獣害 202.33ha	野生動物侵入防止柵設置等の対策を実施。
自然災害	5 噴火	g)火山活動の観測	噴火警報、火口周辺警報の発表件数	随時	気象庁 山梨県 静岡県 試験研究機関	0件	0件	大きな変動はない。防災訓練を行い、情報伝達などの確認を行った。
	8自然災害による建造物等や景観への影響	j)文化財き損届件数	受理件数	毎年	山梨県 静岡県 市町村	3件	1件	経年劣化による破損があったが、修理済み。
	9火災による景観への影響	l)森林の火災被害面積	火災による被害面積	毎年	林野庁 山梨県 静岡県	0ha	0ha	
来訪者及び観光による影響	10 来訪者増加による建造物等や景観への影響	m)主要地点への来訪者数	年間の来訪者数	毎年	山梨県 静岡県 市町	表1		若干の増減はあるが、主要地点合計はほぼ概ねばり推移。

表 1 主要地点への来訪者数

[単位：人]

年	西湖・精進湖・本栖湖周辺(暦年)	富士山本宮浅間大社周辺	山中湖・忍野八海周辺(暦年)	富士吉田・河口湖・三ヶ峠周辺(暦年)	白糸ノ滝	三保松原	合計
2014	2,161,462	1,452,995	896,562	5,852,708	548,627	1,013,220	11,925,574
2015	2,175,052	1,345,562	890,294	5,697,638	494,261	767,799	11,370,606
2016	2,171,061	1,364,648	943,217	5,937,027	477,387	865,045	11,758,385

●「各構成資産及び構成要素の保護」に関する観察指標 (抜粋)

資産及び周辺環境に対する負の影響		観察指標	指標の測定内容・手法	周期	観察記録主体	2016年度の結果	2015年度の結果	コメント
各構成資産	1 建造物における火災	a)防災設備の点検状況	防火設備の点検結果による不良件数	毎年	所有者管理団体	1件	0件	修理済み。
	2 建造物をはじめとする構成資産及び構成要素の劣化	b)建造物をはじめとする構成資産及び構成要素の保全状況	巡視結果による不良件数	毎年	山梨県 静岡県	1件	0件	北口本宮富士浅間神社の修繕計画を検討する。
展望景観	4景観変化	d)定点観測地点からの展望景観の変化	視点場からの展望景観の変化 (参考資料1)	毎年	山梨県 静岡県 市町村	変化なし	変化なし	展望景観からの負の影響は認められない。

●「顕著な普遍的価値の伝達」に関する観察指標 (抜粋)

観察指標	指標の測定内容・手法	周期	観察記録主体	2016年の結果	コメント
a)富士山に関する研修会等実施状況	開催年月日、行事名称、参加者数など	毎年	山梨県 静岡県 市町村	表5 (略)	富士山への理解を深めるため、学校単位での富士山検定や出前講座などを実施し、顕著な普遍的価値の後世への継承を積極的に行っている。
b)環境保全活動の実施状況	開催年月日、行事名称、参加者数など	毎年	山梨県 静岡県 市町村	表6 (略)	地域コミュニティによる環境保全活動の促進が積極的に行われている。
c)富士山信仰に関わる宗教行事の実施状況	神事名、参加者数、行事内容など	毎年	山梨県 静岡県 市町村	表7	地域住民と連携を図りながら、行事を継続している。
d)パンフレット・ホームページによる情報提供数	出版物の名称、規格、部数、ホームページの名称、アドレス、閲覧件数	毎年	山梨県 静岡県 市町村	表8, 9 (略)	富士山世界文化遺産協議会のホームページを改修し、情報提供の内容を充実させた。また、同協議会や富士山周辺の地元市町村等が作成・増刷した印刷物を研修会等で配布し、情報提供を継続している。
e)顕著な普遍的価値に関する理解の状況	アンケート調査による富士山の顕著な普遍的価値を理解した割合(富士山の文化的伝統)	毎年	山梨県 静岡県 市町村	37.9%	来訪者の約4割が、普遍的価値を理解していた。世界遺産センターの開館による情報発信の強化、研修会等の開催により、理解促進活動を継続していく。

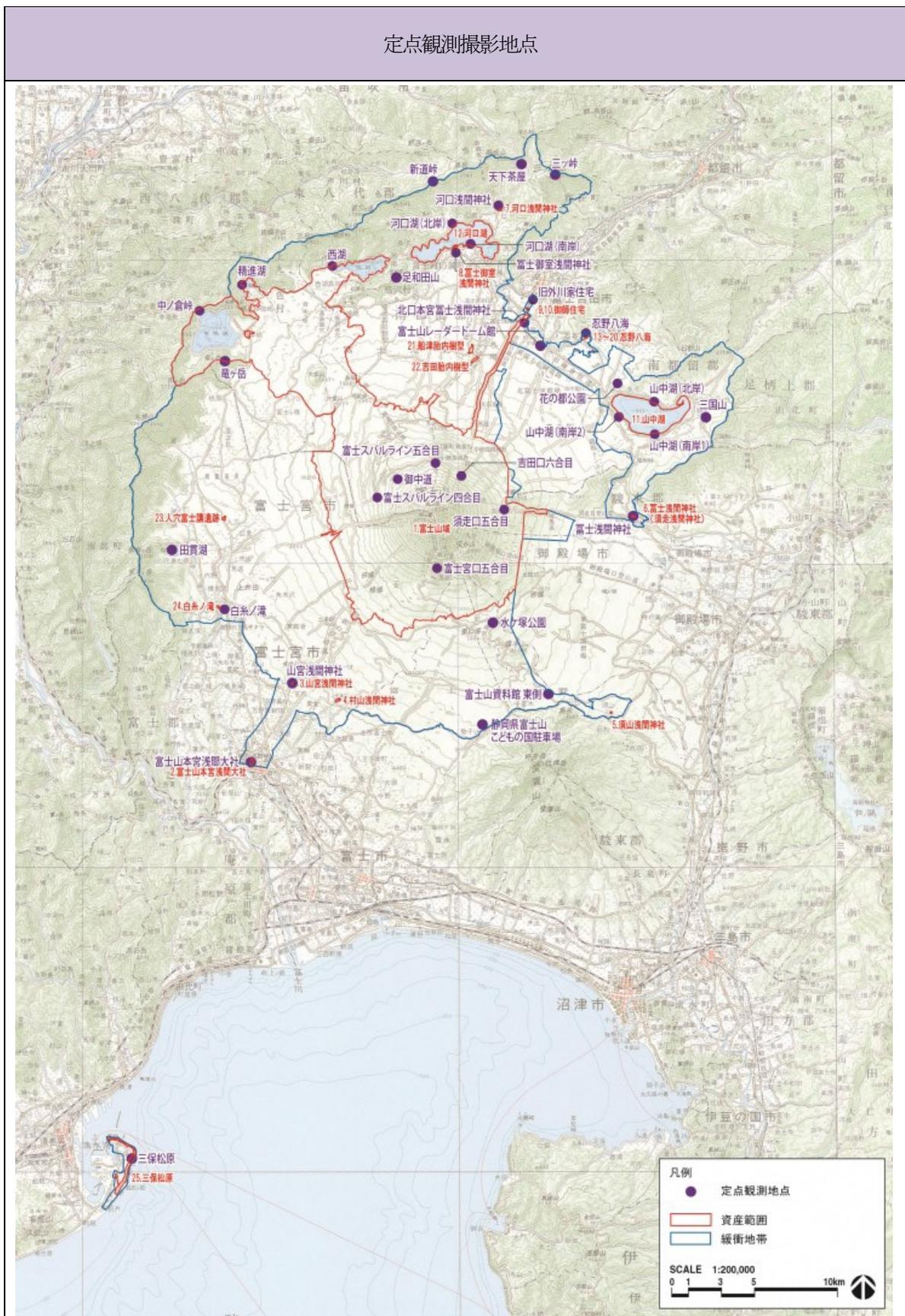
表7 富士山信仰に関わる宗教行事の実施状況

構成資産名	所在地	神事名	参加者数	伝承状況	変容内容
河口浅間神社	山梨県富士河口湖町	例大祭	50名	旧来通り	
		太々御神楽祭	50名	旧来通り	
北口本宮富士浅間神社	山梨県富士吉田市	夏越大祓式・開山前夜祭	800名	旧来通り	
		開山祭	80名	旧来通り	
		鎮火祭	700名	旧来通り	
富士山本宮浅間大社	静岡県富士宮市	初申祭	70名	変容あり	御鉾を渡御する御神幸は、明治初期以降途絶えていたが、2006年大宮鎮座1200年を記念して、山宮のお迎え坂から山宮浅間神社の間で復興
		開山祭	120名	変容あり	以前は7月7日、その後、他の登山口の開山に合わせて7月1日となったが、2014年から、静岡県の開山日に合わせて7月10日に開催
		閉山祭	70名	変容あり	2013年までは9月7日、2014年以降は9月11日開催
		富士山山頂奥宮開山祭	5名	旧来通り	
		富士山山頂奥宮閉山祭	10名	旧来通り	
山宮浅間神社	静岡県富士宮市	初申祭	86名	変容あり	2006年の浅間大社遷座1200年記念祭より復活した
		例祭	57名	旧来通り	
村山浅間神社	静岡県富士宮市	開山祭	210名	変容あり	
		閉山祭	80名	変容あり	
須山浅間神社	静岡県裾野市	開山祭	60名	旧来通り	
		閉山祭	50名	旧来通り	
富士浅間神社	静岡県小山町	開山祭	102名	旧来通り	
		閉山祭	79名	旧来通り	

● 総括

- (1) 「3『資産及び周辺環境の保護』に関する観察指標」について
 - ・自然災害や環境変化に対して、砂防施設や防護柵設置など事前の対策や、伐倒処理など事後の対策を実施しているため、大きな被害には至っていない。
 - ・資産及び周辺環境に対する負の影響が確認又は予見されていない。
- (2) 「4『各構成資産及び構成要素の保護』に関する観察指標」について
 - ・構成資産のパトロールや点検を定期的に行い、き損や施設に不備があった場合は、修理等速やかに対応する体制づくりをしている。
 - ・定点観測地点からの展望景観について、写真比較による観察を開始した。
 - ・各構成資産及び構成要素に対する負の影響が確認又は予見されていない。
- (3) 「5『顕著な普遍的価値の伝達』に関する観察指標」について
 - ・富士山に関する研修会や環境保全活動など、地域コミュニティによって積極的に行われている。

●参考資料 1 定点観測地点からの展望景観の変化



＜参考資料 16＞2016 年度経過観察指標に係る年次報告書（抄）

定点観測地点（36箇所）からの展望景観の変化観察例

	(1) 中ノ倉峠 区分①、③	
撮影地点		
年度	2016年度	2015年度
写真	<p>撮影日：2016年11月17日</p>	<p>撮影日：2015年11月6日</p>
景観変化	展望景観に負の影響は認められない。	

区分①：各方面から富士山を展望する地点

区分②：富士山から構成資産及び緩衝地帯を展望する地点

区分③：構成資産から当該構成資産及びその周辺地域を展望する地点

■年次報告書の全文は、下記 URL 参照のこと

<http://www.fujisan-3776.jp/info-lib/monitoring.html>